

- タウン情報 -

きくがわ

2021

7

Vol. 176



令和3年4月20日(火)に、菊川地区夢プラン策定委員会における最後の会議、夢プラン完成発表会を行いました。この完成発表会の終了をもって、菊川地区夢プラン策定委員会が解散、そして同時にキクガ“わ”ユメプラン委員会(仮称)が発足しました。写真は菊川地区夢プラン策定委員会(当日欠席者を除く)の集合写真です。直前にマスクを外して撮影を行いました！

菊川地区の移動手段を検討する会議開催

5月18日(火)に、住みよい菊川をつくる会 生活環境部会にて、市の公共交通対策課をお呼びして、菊川地区の移動手段を検討する会議を行いました。

菊川地区では、防長交通(株)の四熊方面や川曲・矢櫃方面へのバス運行について、①運転士不足、②別所橋の荷重制限をクリアするために改良したバスの老朽化、という2つの理由により令和3年9月末をもって廃止するという問題を抱えておりました。

しかしながら、①新型コロナウイルス感染拡大の影響で、貸切バス等の運行が縮小し、運転士不足の問題が一時的に解消、②中古のマイクロバスを調達したことから、バスの老朽化の問題が解消、という2つの理由から廃止予定だった路線バスの運行を、当面の間、維持することが可能となりました。

あくまで当面の間ということなので、当会の生活環境部会にて、引き続き菊川地区の移動手段を検討してまいりたいと思います。

住みよい菊川をつくる会 次回発行は令和3年10月です。

タウン情報 きくがわ (176号) 2021年7月1日発行

発行 / 住みよい菊川をつくる会 問合せ / 菊川市民センター 〒746-0082 山口県周南市大字下上2146 ☎ 0834-62-2801 ✉ kikuko@city.shunan.lg.jp

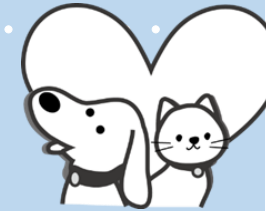
菊川地区内の イベントについて

周南市全域	敬老会中止
下上地区	夏祭り中止・運動会中止
四熊地区	夏祭り中止・運動会中止
加見地区	夏祭り中止・運動会未定
小畑地区	夏祭り未定・運動会未定

〈6/15時点〉

わが家のペット

大集合



菊川のかわいいペットを集めました♪



● たえこちゃん(上)&ななおくん(下)

たえこはおっとり、ななおは元気いっぱい。仲良くしています。

※ 掲載可能な写真データがありましたら、ひと言コメントを添えて、菊川市民センターへメールをください。常時募集中です♪

住みよい菊川をつくる会 《総会開催》

4月29日(木・祝)に、菊川小学校体育館にて住みよい菊川をつくる会の総会を開催しました。総会は代議員制としており、菊川地区内の各自治会長に出席いただきました。

当会の昨年度の事業報告や決算報告、今年度の事業計画や予算、役員を選任について承認を得ました。

各事業につきましては、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況と照らし合わせながら開催の可否を決定していきます。

また、当会主導で発足し、令和元年7月より活動を開始した「菊川地区夢プラン策定委員会」の活動が、令和3年4月の夢プラン完成発表会をもって終了いたしました(表紙参照)。

令和3年度からは、完成した夢プラン「キクガ“わ”ユメプラン」の推進に取り組み、より住みよい菊川をつくるための活動を行ってまいります。



数字で見る菊川 (5月末の人口等)

世帯 3,306 世帯 / 人口 7,850 人 / 男 3,823 人 / 女 4,027 人



現在7名が参加。最高齢は85歳。元気に活動しています。

今回はヒューستنクラブの川鍋さんにインタビューをしました。

「どのような活動をされていますか？」

約5年前から菊川市民センターで活動しています。ヒュー斯顿とは「ヒュー」と吹いて「ストン」と的に当てるから「ヒューストン」と呼び、先の丸い安全な吹矢で100点満点を競うゲームです。腹式呼吸の応用で胃腸消化も良くなり、中高年者の健康維持にも効果的です。

「コロナ禍の中、活動に影響はありましたか？」

息を吹き出す競技ということもあり、コロナ対策として現在はダーツを楽しんでいます。ヒューストンよりもダーツが得意なメンバーもいて、それはそれで盛り上がりついでいます。ヒューストン自体は、コロナワクチン接種後に様子を見ながら再開する予定です。

「どうすればクラブに参加できますか？」

見学を常時受け付けています。第2・第4火曜日の9時30分から、参加費は1ゲームにつき50円です。競技人口がより増えたらいいなと思うとともに、この活動を長く続けることが希望です。反省会と称しての交流会も楽しいですよ。興味がある方は菊川市民センターまでご連絡ください。(☎0834-6212801)

「川鍋さん、どうもありがとうございました！」



菊川 深訪

第45回 風水害の被害の記録

現在も、新型コロナで話題が連日であるが、気象異常も今までに経験しない程に、我々の生活に影響を与えている。梅雨時の異常な雨量、危険を感じる暑さ、経験したことのないスーパー台風である。最近ハザードマップの想定をテレビや公的な機関が、周知徹底を呼び掛けているが、日々の生活の中で、具体的な行動に結びついていない。行動自体の起点は自分自身であるが、どうしても集団行動の本能もあり、人の行動を見て判断している。

過去の災害で、地震や噴火等の大災害がなかった為、山口県は安全であると、自分を納得させている気持ちがある。風水害の記録を見ると、台風や梅雨時の豪雨・土砂崩れがあり、平成以後(平成二十六年までの記録) 死者数八十一名で、床上浸水五千二百軒も被害がある。山口県は三方海に面している為、海岸線が全国五位と長く、河川は二級河川の数が全国二位であり、江戸時代の政策で干拓地が多く、台風時の高潮に弱い地勢になっている。最近でも、平成十一年の台風18号により、山口宇部空港の滑走路や、空港ターミナルが海水で冠水したのは映像として、県民の記憶に焼き付いている。

菊川地域の災害に関して調査すると、昭和三十六年の徳山市広報に、被害総額四億八千万円の集中豪雨が、九月八



昭和36年で破壊された「旧橋詰橋」の現状(小畑)

日から九日にかけて、四熊嶽を中心に、五時間半の間に270ミリメートルの雨量を記録している。豪雨は、四熊川、井谷川、小畑川、夜市川で氾濫し、道路、橋、更に隣接の耕作地を流失させている。最近の豪雨も激しさを増しているが、過去にこのような被害をもたらしたことを記憶すべきである。

市広報(昭和四十九年)に消防団三浦好美さん(富岡)が、県消防協会長表彰を受けている記事では、昭和二十六年のルース台風の時の活躍として、「堤防を守る為に、十日くらい不眠不休でがんばったことを記憶しています。」と当時を回想している。

菊川日和

文・絵 大根姉妹
(ようこさん&としこさん)

薄曇りでじめじめした梅雨のある日、パパ友二人はマスクをしてお茶、雨傘、線香、うちわ、虫さされの薬、火ばさみを持ち9時半に菊川公園へ。目的は公園のごみ拾い。

公園でゲートボールかスパークゴルフを楽しんでおられる皆さんを見ながら入口へ。ところが公園の内も外もごみはなく全くお呼びでない様子。「最近誰かがしちやったんかね」「きれいなじゃ、ええこと、ええこと」と言って新内谷橋へ向かう。

橋の上から菊川(富田川)を眺めると、先日の大雨で水かさが増し、流れも早く水の色もいつもと違い、いつも優雅に泳いでいる鯉達も全く見られず、高い土手の上に鴨のつがいがいるぐらいだ。「よう降ったんじゃね、ほんなら蛍の乱舞の所へ行くかね」と山間(やまあい)の道を歩く。

畑には、あげは蝶がひらひらと飛んで飛んで水田は白いカラー、薄紫の花菖蒲(しょうぶ)、黄色のかきつばたを写し、道端にはピンクの小さい野の花が咲いている。「よいつちゃあ、下上のショウレンドオの辺でうさぎを見たよと聞いたよ」「うさぎは珍しいじゃ」としゃべりながら蛍が乱舞する所へと向かうと、空からポツリ、ポツリと小さな雨が「まあ降り出したね」と歩いていたら道の中央に大きな蛇が、しかも動かない。横たわりぐったりしてのびている。パパ友はそれを見て、年に似合わない黄色い声で「キヤア」と悲鳴をあげる。「きもいね、車にひかれたんじゃあ、ヤレヤレ、ヤレノウ」

ごみ拾い 今日ほどごみでいっぱいだったやら お世話になりますね。

